

桐蔭メディエーション交渉研究所通信

第2号

☆発行所—桐蔭メディエーション交渉研究所

〒225-8502 横浜市青葉区鉄町1614

ホームページ……<http://www.toin.ac.jp/univ/japanese/mediation>

☆発行人—小島武司

☎ 045-972-5881

調停者養成研修講座



菊薫る9月末、和やかな雰囲気の中で、桐蔭横浜大学メディエーション交渉研究所の主催した第一回調停者研修講座（基礎編）が開催されました。今回の研修講座が9月29日、10月6日、10月13日の3回にわたり実施され、27名の受講者が参加しました。講座においては、伝統的な教育手法である教材、ホワイトボード、それに現代的な教育手法であるパワーポイント、DVD、フィリップチャートを併用し、メディエーションに関する理論と技法を伝授し、また、修得させること、ロールプレイの方法を利用し実際問題を解決することによって、受講者たちに紛争調整能力を修得させることに重点が置かれました。

一日目は、まず「裁判と調停の違い」、「自主交渉援助型調停」、「交渉理論と紛争解決」についてのディスカッションを織り込みつつ、メディエーションの全体像を概観し、「針混入事件」、「子供遊び場事件」を素材にしてロールプレイを行い、紛争当事者の本音と建前を区別しながら、当事者の気持ちを受け止めるなどのメディエーション基本技法を修得しました。二日目は、DVDを通じて調停の開始から終了までの調停者のあるべき態度、注意すべき事項など「調停の技法」を学び、「傾聴の技法」、「言い換えの技法」に関するトレーニングを行い、さらに「調停人の倫理問題」をも検討しました。三日目は、医療メディエーター活動に関するDVDを上映し、社会生活とメディエーションについてのディスカッションを行い、とくに実際に起きた事件をもとに受講者にそれぞれの役割を割り振り、真剣で白熱したメディエーション交渉を体験しました。

今回は、民事調停委員、家事調停委員、消費者センター相談員、交番相談員、司法書士、行政書士、土地家屋調査士、研究員、大学教員等、紛争処理にあたっているプロから、会社員、ピアノ教師等、紛争処理に関心をもっている社会人まで、様々な分野で活躍されている方々が受講しました。講座は「学習の場」になり、「交流の場」にもなり、意義深いものとなりました。

最終日の閉講式において、メディエーション交渉研究所所長の小島武司法学部長は、受講者に対する修了証書を交付の際に、今後、研究所は引き続き各種の調停者養成講座を開くにとどまらず、研究会や国際シンポジウムをも開催し、研修と研究の両面から日本のADRの活性化とADR手続担当者の育成に力を尽くしたいと抱負を述べました。

調停者研修講座に関するアンケートの結果

「2007年度・調停者研修講座【基礎編】」のアンケート結果

研修最終日に受講者の方々にご協力賜りましたアンケートの結果について、ご報告させていただきます。まず、五肢択一形式による満足度の調査結果は、以下の表の通りです。

項目	大変不満	不満	どちらでもない	満足	大変満足
情報提供型講義	0	1	0	18	6
参加型トレーニング	0	1	2	14	8
トレーニング内容全体	0	2	0	16	6
会場・教室	0	1	7	10	7
開催日時	0	0	4	7	6
申込み方法・告知方法等	1	3	11	15	2

(単位：人)

つぎに、自由記入欄に記載された主なご意見を紹介します。ロールプレイなどの参加型トレーニングは、概ね好評でした。また、スクリーン (DVD、パワーポイント)、資料、フィリップチャートなどを駆使した変化に富んだ研修スタイルも、満足いただけたようです。ロールプレイでの役割交替やタイムキーパー役の設置などの積極的な提案や、もう少し理論化された体系的学修を望むとの声や自主交渉援助型調停に対する疑問 (非現実的など) やその限界についての指摘をいただきました。これらはいずれも当講座に対する応援メッセージでした。そのほか、PR活動が不十分、受講決定の通知が遅い、アクセス情報が十分でない、休憩時間が短いなどのご意見もいただきました。

ご回答いただきました方々のご期待にこたえるべく、今般のアンケート結果をこれからの講座運営に大いに活かしていきたいと思っております。アンケートへのご協力ありがとうございました。

受講者の声

調停者養成研修講座 (基礎編) に参加して

黒坂 洋子

今般、桐蔭横浜大学において調停者養成研修講座 (基礎編) が開講されました。

日頃、家事調停員として調停技術向上のために家裁の研修などで切磋琢磨しているつもりですが複雑な事件に直面すると力不足を感じます。そんな中での本講座開講でしたから、大変にありがたく受講させていただきました。

本講座は交渉理論を体系づけた学習や調停者の倫理など原点を突く内容が凝縮しており、研修会場での参加者は、講師の言葉を一言たりとも聞き漏らしたく無いと云うほどの熱気で溢れるものでした。

講座の特色としては座学ばかりでなく、講師が示し、また、参加者自ら試し、お互いに意見を交換するという、参加・実践型が大きく取り入れられていました。参加者も突然の指名で適度の緊張もありましたがしっかりと意見を述べており、参加者の真摯さと実力を実感致しました。このような3日間もあつという間に終わってしまい、時間を忘れるほど充実した学習をすることができました。次の講座を心待ちにしております。

講座内容を復習してみると私にとってはどれもこれも調停に役立つことばかりです。また、一般社会でも役立つ場面は多だと考えます。

参加者には各界で活躍されている方も多く、様々な問題解決に情熱をもち努力しておられるようですが、参加したすべての皆様と有意義な時間を共有できたことが何よりも嬉しかったです。